



軽費老人ホーム経営セミナープログラム

ー 生活支援施設としての軽費老人ホーム（ケアハウス） ー

主催：独立行政法人福祉医療機構

〈開催日〉 平成24年2月2日（木） 〈会場〉 毎日新聞ビル・オーバルホール

一昨年11月に出された「介護保険制度の見直しに関する意見」（社会保障審議会介護保険部会）では、地域包括ケアの取組みを推進していくとともに、軽費老人ホーム（ケアハウス）については「平成16年度以降に、地方分権推進の観点から、三位一体改革により運営費や施設整備費の税源移譲による一般財源化が行われたところであり、各自治体が計画的な整備を含めた事業の実施を行う必要がある。国においても各自治体に対し、適切な事業の実施を継続的に呼び掛けて行く必要がある。」となっており、軽費老人ホーム（ケアハウス）に期待されている部分はこれからも大きいといえます。

現在軽費老人ホーム（ケアハウス）は、入所者の重度化、職員の配置基準、人件費の高騰など、多くの問題が浮き彫りとなっておりますが、今後の高齢社会を迎えるためには、比較的軽度で低所得の高齢の方が暮らす生活支援施設としての期待がますます高まるものと思われます。

そこで当セミナーでは、軽費老人ホーム（ケアハウス）が本来持つ役割を再確認し、これからの地域包括ケアの中で進むべき方向について、課題を整理するとともに皆さまとともに考えて参りたいと思います。

その結果、施設の皆様が将来に向かって持続可能な経営基盤を確立するための参考としていただけるようなセミナーにしたいと思っております。

09:40~10:10	受付（30分）
10:10~10:20 （10分）	オリエンテーション 開会あいさつ 独立行政法人福祉医療機構 理事 宮地 薫
10:20~11:30 （70分）	「現在の軽費老人ホーム（ケアハウス）とこれからの展望」 〈講師〉 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 課長補佐 家田 康典 氏
11:30~11:40 （10分）	「福祉貸付事業の概要について」 〈説明者〉 独立行政法人福祉医療機構 大阪支店 福祉審査課
11:40~12:30	休憩（50分） ※ 融資相談コーナー設置
12:30~13:40 （70分）	「地域包括ケア時代の生活支援施設とは ～軽費・ケアハウスの機能と役割を考える～」 〈講師〉 全国軽費老人ホーム協議会 会長 川西 基雄 氏 （社会福祉法人サンシャイン会 理事長）
13:40~13:50	休憩（10分）
13:50~15:00 （70分）	「地域社会における軽費老人ホーム（ケアハウス）のあり方」 〈講師〉 全国軽費老人ホーム協議会 専門委員 徳山 里子 氏 （社会福祉法人豊年福祉会 総務部長）
15:00~15:10	休憩（10分）
15:10~16:15 （65分）	「新たな社会福祉法人会計基準の概要」 〈説明者〉 独立行政法人福祉医療機構 経営支援室 経営企画課長 千葉 正展
16:15~16:30 （15分）	「軽費老人ホーム（ケアハウス）の経営分析参考指標の概要」 〈説明者〉 独立行政法人福祉医療機構 経営支援室 経営企画課

※なお、講師および講義内容に変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。